

北海道洋上風力アカデミー

令和5年度予算「洋上風力発電人材育成事業費補助金」

代表補助事業者：石狩洋上風力合同会社

参加補助事業者：国立大学法人北海道大学
丸紅洋上風力開発株式会社

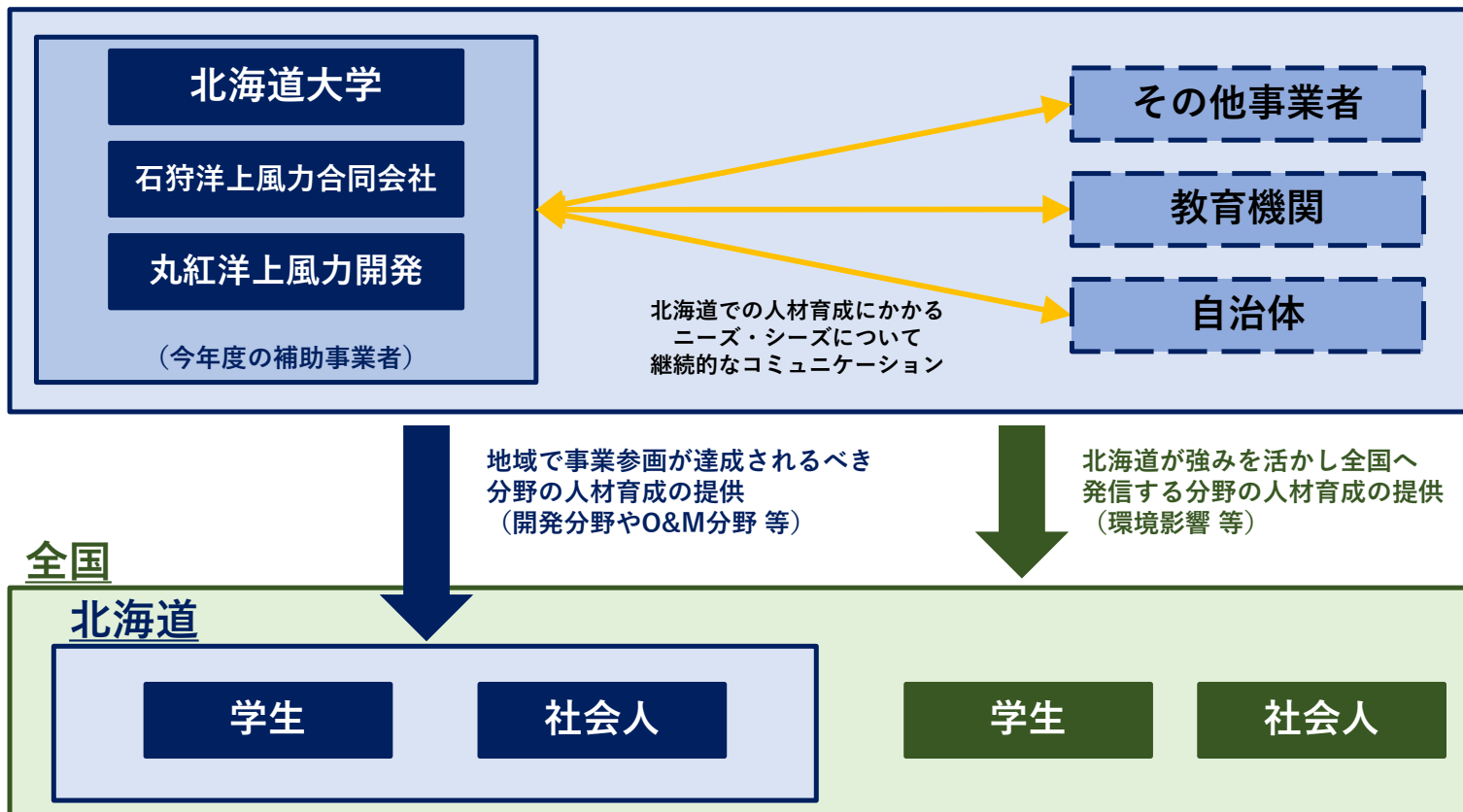
事業の背景・目的

- 北海道は、洋上風力について2040年約9GW～15GWの導入目標（※）が示され、本年5月に5海域が有望区域に指定されるなど、高いポテンシャルが期待される一方、東北・九州などの地域より人材育成の検討が進んでいないと考えております。 ※洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会（令和2年12月15日）
- その背景には、北海道内の教育機関・企業の洋上風力発電への理解醸成や連携構築が進んでいなかったこと、人材育成の取組を検討する体制等が整備されていなかったことが課題としてあると考えています。また、北海道は他地域よりも広範囲でかつ複数の洋上風力発電事業が検討されており効率的な人材育成が必要となります。道内の教育機関が連携してカリキュラムを作成することで、道内の様々な地域において、学生や社会人等が学ぶ機会を得ることが可能となります。
- そこで令和5年度事業では、①道内の教育機関・自治体・企業等を巻き込んだ洋上風力に関する勉強会・見学会での理解醸成、②ヒアリングまたはアンケートでの人材育成や事業参画の意向調査を経て、③自立的かつ継続的に実施できる人材育成のあり方を検討します。
- 加えて、北海道大学主体で、その強みである環境影響把握、及び地域創生に関連するカリキュラムを、人材育成プログラムの1つとして作成します。
- この取り組みを通じ、**北海道大学が道内の洋上風力人材育成のハブとなり、ローカルネットワークを形成する、北海道洋上風力アカデミー**（次ページ参照）の設立を目指します。
- 令和6年度以降は、**地域の意向を踏まえ人材育成のニーズ・シーズがある人材育成プログラムの具体化・実施、並行して理解醸成等の取組を継続**します。

概要：北海道洋上風力アカデミー構想

- 本事業を通じ、北海道大学が道内の洋上風力人材育成のハブとなってネットワークを形成し、地域で事業参画が達成されるべき分野や、北海道の強みがある分野の人材育成の提供を目指します。

北海道洋上風力アカデミー



北海道洋上風力アカデミーの機能

- 北海道での人材育成にかかるニーズ・シーズの発掘
- ニーズ・シーズを踏まえたカリキュラムの作成・講師選定等の人材育成プログラム作成
- 人材育成プログラムの運営

※北海道大学をハブとし、石狩洋上風力合同会社・丸紅洋上風力開発のほか、その他事業者や北海道内の教育機関、自治体とも連携を目指す。

（１）北海道大学をハブとした洋上風力人材育成ネットワークの形成

①道内の教育機関及び企業への 洋上風力産業の情報発信

- ・ 洋上風力に関する理解醸成のために、教育機関や企業向けに、JWPAが公表する洋上風力スキルガイド等の内容を中心とした、勉強会を実施します。
- ・ 石狩洋上風力合同会社の出資者である丸紅株式会社が参画している秋田港能代港洋上風力発電事業を対象とした見学会を開催します。

②道内の教育機関及び企業への 洋上風力発電産業にかかる 人材育成や事業参画の意向調査

- ・ 教育機関・企業に対して、ヒアリング・アンケートでの意向調査を実施します。
＜意向調査の内容＞
教育機関：親和性の高い、また関心のある仕事や人材育成実施の可能性、課題等
企業：親和性の高い、また関心のある仕事や、社内人材育成の可能性・課題、学生に期待するスキル等

③検討を踏まえた道内で 実施すべき人材育成の内容や 実施体制等の整理

- ・ ①・②に加え、事例調査を実施し、北海道での洋上風力の人材育成が継続的に実施できる体制を構築するために、人材育成のニーズ・シーズがある内容、その実施体制（事務局や講師等）、対象範囲（学生や企業）、経済性の担保方法等を整理します。
- ・ 人材育成のニーズ・シーズがあると判断できた内容のうち、開発分野を中心に、可能なものは令和5年度事業期間内でカリキュラムの骨子等作成にとりかかります。

（２）北海道大学での環境影響調査に関連するカリキュラム作成

- ・ 北海道の洋上風力の人材育成プログラムの分野の1つとして、環境影響調査のカリキュラムを作成します。
- ・ カリキュラムを検討するにあたり、洋上風力発電事業の実務の知見を加えるため、石狩洋上風力合同会社や環境コンサルティング会社等とのワーキンググループを開催します。
- ・ カリキュラム作成のほか、講師や対象とする学生や企業等を整理します。

本事業の成果指標

	令和5年度の成果指標	効果測定の方法
1	勉強会・研修会を通じた、 - 教育機関の洋上風力への理解度や人材育成への関心の向上 - 企業の洋上風力への理解度や事業参画への関心の向上	ヒアリング・アンケートでの確認
2	意向調査を通じた、 令和6年度以降の本事業へ関心・関与を示していただける教育機関・企業の発掘	ヒアリング・アンケートでの確認及び、その後の具体的な意見交換
3	環境影響等に関連するカリキュラムの作成	環境コンサルティング会社や地元企業等からのレビュー



令和5年度事業の成果を活かし、
北海道洋上風力アカデミーを実現・拡大

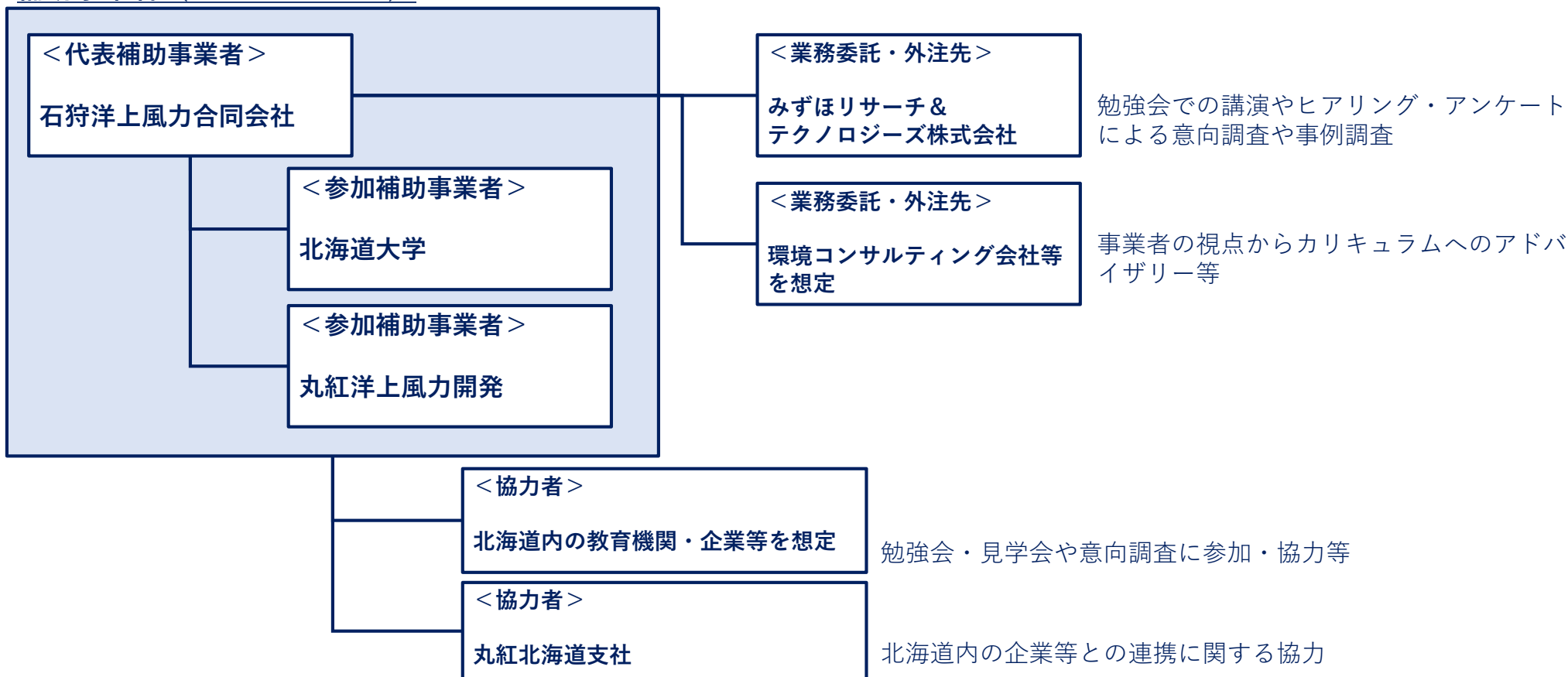
	令和6年度以降の成果指標	効果測定の方法
1	北海道の教育機関・企業を巻き込んだ人材育成プログラム（北海道洋上風力アカデミー）の実現	- 人材育成プログラムに関与する北海道の教育機関・企業の数 - プログラムの受講人数等
2	北海道・全国の洋上風力発電産業への就職人数・志望度や企業のサプライチェーン参画数の増加	- 洋上風力に関与する企業への就職人数 - 洋上風力関連産業サプライチェーンへの参画数

実施体制

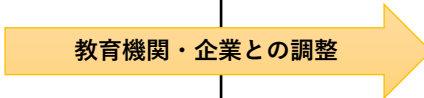
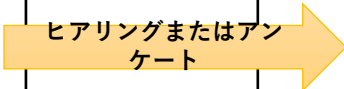
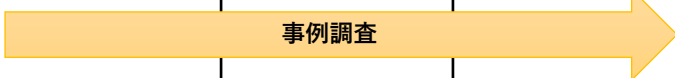
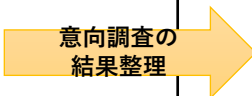
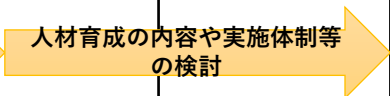
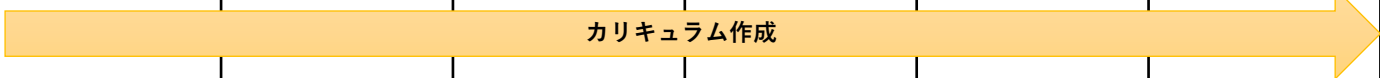
石狩洋上風力合同会社・丸紅洋上風力開発：全体とりまとめ、（１）北海道大学をハブとした洋上風力人材育成ネットワークの形成

北海道大学：（２）北海道大学での環境影響調査に関連するカリキュラム作成、（１）のうち道内の教育機関との連携

補助事業者（コンソーシアム）



実施スケジュール

	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月
(1) 北海道大学をハブとした洋上風力 人材育成ネットワークの形成						
①道内の教育機関及び企業への洋上風 力産業の情報発信	 教育機関・企業との調整		●勉強会の実施 ●現地視察			
②人材育成や事業参画の意向調査			 ヒアリングまたはアン ケート			
③道内で実施すべき人材育成の内容や 実施体制等の整理	 事例調査			 意向調査の 結果整理	 人材育成の内容や実施体制等 の検討	
(2) 北海道大学での環境影響調査に 関連するカリキュラム作成	 カリキュラム作成					